

ビジネスをサイエンスする

2018

創立102年目の挑戦!



長野県赤穂高等学校 商業科通信

vol.136

経済社会で役立つスキルを身につける

地域社会の問題を考え貢献する

困難な課題を突破する力を育てる



**商業科3年生(情報コース) 4人が
経済産業省情報処理技術者試験ITパスポート試験
に合格しました!**

長野日報 11/5掲載

赤穂高商業科の3年生4人 ITパスポート 国家試験に合格

赤穂高校(駒ヶ根市)商業科情報処理コース3年の有賀響月さん(17)、下沢千花さん(18)、中村真依さん(18)、丸山彩名さん(18)が、8月に行われた国家試験の「ITパスポート試験」に合格した。本



ITパスポート試験に見事合格した赤穂高校商業科情報処理コース3年の丸山彩名さん、中村真依さん、下沢千花さん、有賀響月さん(左から)

格的な学習を始めたのは4月「たと短期間で資格取得をからで、「集中して取り組み喜んでいる。」

同資格は情報処理技術の基礎科目だが、マーケティングやシステム構築まで幅広い知識が問われる。2時間の試験時間内に100問が出題され、4択で回答、文章を読み取る力も問われ、同校によると、高校生の合格率は3割程度だという。

「2年までは簿記コースだったので、基礎的な知識がなかつた」と有賀さん。「毎朝の通学時にも過去問を解いて、難しい単語など繰り返し覚えたと丸山さんは振り返る。

普段の学校生活と両立しながらの学習で、部活を退いた夏休みも集中的に勉強した4人。それぞれ卒業後は就職、進学と進む道は違っていたが、下沢さんは「途中で嫌になったこともあったが踏ん張れたことが、今後の社会生活に生かせると思う」と話し、中村さんは「もっと高度な資格を取得したい」と意欲を見せた。

5日に4人から合格の報告を受けた松村校長は「今回に限らず、今後もいろいろな挑戦してほしい」と激励した。

(勝村誠之)

赤穂高校商業科は1学年で商業の基礎を学び、2学年から簿記をより深く学ぶ「会計コース」と情報処理をより深く学ぶ「情報コース」に分かれます。会計コースの目標は「日商簿記検定2級」で情報コースの目標は「ITパスポート」です。どちらもなかなか合格できない難関級なのです。

ITパスポート試験とは

ITパスポート試験は、ITを安全かつ効率的に活用できる能力を証明する経済産業省の国家試験です。「IT技術(テクノロジー)」、「経営全般(ストラテジ)」、「IT管理(マネジメント)」の3つの分野の総合的な知識が問われます。